



上尾市

# あげお 議会 だより

## 主な内容

審議された主な議案	2ページ
委員会審査・討論	3～5ページ
提出議案・請願とその結果	6ページ
行政視察報告	7ページ
市政に対する一般質問	8～15ページ
委員会活動	16ページ

## 祝！二十歳

1月8日、上尾市文化センターで「二十歳のつどい」が開催されました。20歳を迎えた代表者は、華やかな衣装を身にまとい、社会に羽ばたく決意を誓いました。

第205号  
令和5年(2023)  
2月号

発行 / 上尾市議会  
編集 / 議会報編集委員会  
〒362-8501  
埼玉県上尾市本町3-1-1  
電話 048-775-9467

Pick Up

## 令和4年12月定例会 審議された主な議案

12月定例会で審議された議案は、市長提出議案(追加提出議案を含む)18件および諮問3件、議員提出議案7件、委員会提出議案1件の計29件で、26件を原案のとおり可決・異議なき旨答申し、3件を否決しました。

議案第78号 令和4年度上尾市一般会計補正予算(第11号) 歳入歳出補正額 11億3749万1000円  
 議案第94号 令和4年度上尾市一般会計補正予算(第12号) 歳入歳出補正額 4億1018万3000円

### 物価高騰対策、出産・子育て応援給付金などを含む補正予算案を可決

#### ●「くらし支援給付金」で“均等割のみ課税世帯”を支援

「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の対象とならない住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり2万5000円を給付するもの。

#### ●0歳～2歳の子育て家庭を支援

##### 出産・子育て応援給付金

妊娠期から面談などを通じて必要な支援につなぐ伴走型支援(子育てサポート)を充実するとともに、子育て負担軽減を図るための給付金(妊娠時に妊婦一人当たり5万円、出生後に子ども一人当たり5万円)による経済的支援を一体的に実施するもの。

##### わんつー子育て給付金

「出産・子育て応援給付金」の実施に当たり、初年度のため経済的支援の対象とならない1・2歳児の保護者に対し、アンケートを実施するとともに子ども一人当たり3万円を支給するもの。

議案第93号 上尾伊奈資源循環組合規約に関する協議について

### 上尾伊奈資源循環組合を設置

上尾市および伊奈町が令和15年度を目途に共同設置するごみ広域処理施設に関し、建設および稼働後の管理運営、計画策定などを所掌する「上尾伊奈資源循環組合」の規約を定めることについて、地方自治法に基づき提案するもの。



組合事務所が設置されるイコス上尾

議案第95号 市長の給料の減額支給に関する条例の制定について

### 市長の給料を減額

(仮)新図書館複合施設建設工事に係る工事請負契約の解除に至った経緯に鑑み、市長の給料を令和5年1月～3月の3カ月間、100分の20の割合で減額するもの。

※その他の議案や議決結果については、6ページ「令和4年12月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

12月23日	本会議	委員長報告、討論、採決、議長選挙、埼玉県都市ポーターズ企業団議会議員の選挙、議員・委員会提出議案の上程、採決、議員の派遣、閉会
12月21日	委員会	福祉常任委員会
12月21日	本会議	追加提出議案に対する質疑、委員会付託
12月20日	本会議	一般質問、追加提出議案の上程および説明
12月14・16・19日	本会議	一般質問
12月12日	委員会	文教経済・健康福祉常任委員会
12月9日	委員会	総務・都市整備消防常任委員会
12月8日	本会議	提出議案に対する質疑、委員会付託
12月5日	本会議	開会、市長提出議案の上程および説明

## 12月定例会の動き

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

請願審査  
上尾市地域公共交通に  
関する請願を審査

〈メモ〉 高齢者などの移動手段を

確保するため、実効性のある対策を求めるもの。

委員 上尾市地域公共交通活性化協議会での協議内容は。

答 市内循環バス「ぐるっとくん」の見直しに向けた協議を行っている。11月の協議会では、見直しの方針案として、車両台数を増やし運行便数の増加を図ること、現在の利用者ニーズを踏まえて上尾駅を起点とする現運行ルートを維持すること、需要に応じた柔軟な運行を実施することを提示し、その上で具体的なサービス内容や運行ルートなどの協議を開始した

議長  
就任あいさつ



議長 星野 良行

市民の皆さまには、平素より市政ならびに市議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

私は、昨年12月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、円滑な議会運営と議会のさらなる活性化に努めてまいります。

市議会といたしましては、市民の皆さまが、上尾市に住んで良かったと思える魅力あるまちづくり、そして、本市の発展と市民福祉の増進のため、二元代表制の一翼を担う議会として、市長をはじめとする執行機関としっかりとした議論を重ね、全議員が一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、市議会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

ところである。

委員 タクシーの利用促進については、どのように考えているか。

答 上尾市地域公共交通計画の重点施策である市内循環バス「ぐるっとくん」の見直しについて優先的に協議しているところだが、タクシーの利用促進などの基本施策についても並行して調査研究していきたい。

都市整備消防常任委員会

補正予算  
道路修繕工事を前倒し  
で発注

〈メモ〉 年間を通した工事稼働件

数の平均化、建設業界の経営の効率化のため、令和5年度に予定していた道路修繕工事を前倒しで行うもの。

委員 予定していた工事の前倒しの予算計上だと思いが、入札、契約などは令和5年3月末ぐらいまでに行われ、工期は4月1日以降という解釈でよいか。

答 3月上旬に契約し、6月末までの工期を予定している。

委員 債務負担行為での予算計上は検討したか。

答 令和5年度に予定していた事業を令和4年度に組み入れるもの

で、繰越明許費を設定し、年度をまたいでの対応となる。

委員 次年度以降も工期前倒しを予定しているか。

答 12カ月間をフルに活用したいと考えている。予算については、財政部局と協議しながら、12月に補正予算を組み、4月～6月の第1四半期に工事ができるように対応していきたい。

委員 緊急性を要している道路改修があると、12月に補正予算を計上し、4月当初から工事を実施するのか。

答 ひび割れなど舗装の損傷が激しい場所や交通量を考慮し、早急に対応しなくてはいけないところを選定している。

文教経済常任委員会

請願審査  
学校給食の低アレルギー献立導入を求める請願を審査

〈メモ〉 学校給食におけるアレルギー対策を進めるため、低アレルギー献立の導入を求めるもの。

委員 低アレルギー献立を導入した場合、どれくらいの費用がかかるか。

答 通常の献立と比較すると、1食当たり20円程度高くなる。

委員 先進自治体である箕面市では、低アレルギー献立を導入しても費用が変わらないと聞くが詳細を伺う。また、上尾市でも低アレルギー献立の導入は可能なのか。

答 箕面市に確認したところ、献立全体を見直すことで費用を抑える工夫をしているとのことである。一定の試行期間は必要と考えるが、低アレルギー献立の導入は可能と思われる。

委員 上尾市において、食品アレルギーの心配をせずに食べられる給食の提供を行っている日は現在あるのか。

答 本市においても、低アレルギー献立を提供する日があるが、アレルギーを発症しやすい7品目に対する献立であるため、全ての子どもが食べられるという訳ではない。

**健康福祉常任委員会**

**条例改正  
国民健康保険税の賦課  
限度額を引き上げ**

〈メモ〉地方税法施行令の一部改正を踏まえ、本市における国民健康保険税の賦課限度額について、基礎課税額の限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課

税額を19万円から20万円に、介護納付金課税額は17万円に据え置き、合計で99万円から102万円に改めるもの。

委員 賦課限度額の引き上げが行われることによって影響を受ける世帯数と、影響額は。

答 影響を受ける世帯数は約360世帯、金額にして約1140万円と見込んでいます。

委員 102万円の賦課限度額に該当するのは、どのくらいの世帯収入が想定されるか。

答 一般的な給与収入を得る3人世帯という想定では、おおむね1070万円程度の年収の世帯が該当する。

**討論**

**令和4年度上尾市水道事業会計補正予算（第1号）**

反対▼無党派（秋山） 本市の水道料金は近隣市に比べて高く、調査をすると給水原価が高いということ突き止めた。また検針・徴収業務について、多くの事業者が

参加できるように入札時期の変更を求めたが、2月実施から1月31日実施になったただけであった。

**上尾市個人情報保護に関する法**

**律施行条例の制定について**

賛成▼政策・市民の声 死者の情報の保護が除外されていることや、オンライン結合により審議会への諮問が不要になったことなど改正法に問題点はあるが、市として独自にガイドラインを作成することであるので、これまでの水準が落ちることのないよう、完全の体制を取ることを求める。

反対▼共産党 全国統一の法律施行条例になることで、市民一人一人の情報は非識別加工情報に置き換えられるが、この作業は全て外部委託であり、情報漏えいの恐れがある。また国の個人情報保護に関する法律そのものに大きな欠陥があり、市独自の個人情報保護施策を後退させることになる。

反対▼無党派（津田） 本市の議員年収は人口20万人を超える都市の中でも全国最低という事情を踏まえると、増額に理解はできる。しかしながら、現在のコロナ禍、物価高騰、長年の不況などにより市民は苦しいままである。市民に寄り添うのであれば、増額は今のタイミングではない。

**令和4年度上尾市一般会計補正予算（第12号）**

賛成▼公明党 幼児教育・保育の無償化などの対象から外れ、支援が手薄とされるゼロから2歳児までの支援策として国で決定された。本市としても速やかに給付が行われること、またその給付の対象外となる1歳児、2歳児に対しても市独自の給付事業が実施されることは、高く評価できる。

**市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について**

反対▼共産党 コロナ禍で苦しい国民の暮らしや経済の再建の道半ばであり、あらゆる物価が高騰している。賃金は上がらず、年金も下がり続け、後期高齢者医療費の窓口負担も増加するなど、市民の暮らしが大変厳しい中で、市長、議員などの給与増額は市民の理解と納得が得られない。

反対▼無党派（津田） 損害賠償の額を事前に決めていけば、議会に諮ることができたのではないかと、結果的に議会を軽視したのではないかと考える。さらに図書館の収容能力、施設の老朽化などの問題は解決されていない。豊かな蔵書数の図書館を市民に利用してもらおうことがいまだにできておら

ず、文化的な損失が最も大きい。

**若年がん患者のターミナル在宅療養支援の実施を求める請願書**

**賛成▼政策・市民の声** さいたま市の当該事業の予算は約400万円であり、財政的な負担は小さい。また、人生の締めくりに当たる終末期に、家族をはじめとする大切な人と安心して暮らせるこの事業が実施されることで得られるものは大きい。一刻も早い事業の実施をお願いする。

**賛成▼共産党** 若い世代ががんに罹患し、在宅で治療および終末期を過ごすためには、福祉用具のレンタルなどが必要であるが、高額な費用がかかるため諦めている。またコロナ禍で面会が制限されており、残された時間を家族と過ごしたいという思いを実現するため、早急に実施すべきである。

**賛成▼公明党** いわゆるAYA世代のターミナル在宅療養については公的制度がなく、経済的な理由から在宅療養を断念されている方もいるのではないかと。ターミナル療養をされている方が、残された時間を望む場所で望む形で過ごすことは、本人にとっても家族にとっても大切なことである。  
**イオンモール上尾への期日前投票**

**所の設置を求める請願書**

**賛成▼共産党** 民主主義を実現する選挙において、主権者として投票を促し、投票率を向上させることは重要である。また親子連れが投票することは、子どもたちへの主権者教育にもつながる。駅の東側にあるイオンモールでの期日前投票所の開設は、多くの市民の願いである。

**学校給食における低アレルギー献立の取り組みを求める請願書**

**賛成▼共産党** 子どもたちの食物アレルギーは年々増えている。令和3年の児童生徒の6・5%に食物アレルギーがあり、そのうち352人が栄養士と相談しながら弁当を持参している。子どもたちが安心して同じ給食を食べることができるよう、低アレルギー献立の回数を増やすことが必要である。

**上尾市地域公共交通に関する請願**  
**賛成▼共産党** 地域公共交通計画では、公共交通サービス向上による高齢者の外出機会の増加を目標に掲げているが、高齢者が病院や買い物などに行くために利用する「ぐるっとくん」などの公共交通は十分機能していない。交通弱者にとって利便性の高い公共交通の実現は、市民の切実な願いである。

### 採択された請願

令和4年12月定例会において、次の請願が採択されました。

**若年がん患者のターミナル在宅療養支援の実施を求める請願書**

**請願者／大谷貴子氏**  
**イオンモール上尾への期日前投票所の設置を求める請願書**

**請願者／瀬田裕司氏**  
**学校給食における低アレルギー献立の取り組みを求める請願書**

**請願者／無農薬の給食を目指す会**  
**黒木恵子氏、子どもたちの未来を**

考える会くいろいろの輪く 内館美奈子氏

**上尾市地域公共交通に関する請願**  
**請願者／中澤正雄氏他80名**

### 同意した人事案件

人権擁護委員・藤波政明氏、野田正氏および千葉ふみ子氏が令和5年3月31日で任期満了となるため、後任として<sup>おおやまかずとし</sup>大山和俊氏、<sup>すずきひろあき</sup>鈴木宏明氏および<sup>のぐちかおり</sup>野口佳織氏を人権擁護委員の候補者として推薦することに、<sup>のぐちかおり</sup>について意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

### 委員会などの変更

- ・令和4年12月5日付で、上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会副委員長が戸野部直乃議員から道下文男議員に、12月23日付で同委員会委員が星野良行議員から渡辺綱一議員に変更となりました。
- ・12月22日付で、議会改革特別委員会委員が戸野部直乃議員から長沢純議員に変更となりました。
- ・12月23日付で、議会運営委員会委員が尾花瑛仁議員から原田嘉明議員に変更となりました。
- ・12月23日付で、議会報編集委員が星野良行議員から大室尚議員に変更となりました。
- ・12月23日付で、埼玉県都市ポートレース企業団議会議員が大室尚議員から星野良行議員に変更となりました。

### 津田賢伯議員が辞職

津田賢伯議員(無会派)から、令和4年12月31日をもって議員辞職したい旨の辞職願が12月23日に提出され、議長は同日付でこれを許可しました。

令和4年12月定例会 提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案（21件）

- 議案第78号 令和4年度上尾市一般会計補正予算(第11号)
- 議案第79号 令和4年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 議案第80号 令和4年度上尾市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第81号 令和4年度上尾市公共下水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第82号 上尾市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について
- 議案第83号 上尾市西貝塚環境センター基幹的設備改良・整備運営事業事業者選定委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第84号 上尾市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について
- 議案第85号 上尾市職員の給与に関する条例及び上尾市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第86号 市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第87号 上尾市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第88号 上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第89号 上尾市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第90号 伊奈町から消防事務の委託を受けるに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第91号 公の施設の指定管理者の指定について【上尾市民体育館及び上尾市平塚サッカー場】
- 議案第92号 公の施設の指定管理者の指定について【上尾市コミュニティセンター】
- 議案第93号 上尾伊奈資源循環組合規約に関する協議について
- 議案第94号 令和4年度上尾市一般会計補正予算(第12号)
- 議案第95号 市長の給料の減額支給に関する条例の制定について
- 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【大山和俊氏】
- 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【鈴木宏明氏】
- 諮問第3号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【野口佳織氏】

◎議員提出議案（7件）

- 議第21号議案 消費税のインボイス制度導入に伴うシルバー人材センターの安定的な運営に関する意見書
- 議第22号議案 「健康保険証の廃止」と「マイナンバーカード一体化」に反対する意見書
- 議第23号議案 インボイス制度の実施延期を求める意見書
- 議第24号議案 学校給食の無償化を求める意見書
- 議第25号議案 物価高に見合う生活保護基準の引き上げを求める意見書
- 議第26号議案 带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書
- 議第27号議案 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

◎委員会提出議案（1件）

- 委第1号議案 上尾市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

◎請願（4件）

- 請願第18号 若年がん患者のターミナル在宅療養支援の実施を求める請願書
- 請願第19号 イオンモール上尾への期日前投票所の設置を求める請願書
- 請願第20号 学校給食における低アレルギー献立の取り組みを求める請願書
- 請願第21号 上尾市地域公共交通に関する請願

◎本議会において賛否が分かれた議案

※○=賛成 ×=反対 ※議長は採決に加わりません。  
※一覧に掲載されていない議案・請願は、全会一致で可決(採択)。

議案番号	議決結果	政策・市民の声					上尾同志会					共産党					公明党				彩の会		無会派										
		樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	鈴木茂	浦和三郎	井上茂	小池佑弥	田島純	原田嘉明	尾花瑛仁	新道龍一	田中一崇	渡辺綱一	轟信一	新藤孝子	戸口佐一	池田達生	平田通子	井上智則	戸野部直乃	前島るり	長沢純	道下文男	小川明仁	星野良行	大室尚	津田賢伯	佐藤恵理子	秋山かほる		
議案第80号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第82号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第86号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
議案第95号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議第22号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×			○	
議第23号議案	原案否決	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×				○	
議第25号議案	原案否決	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議長	×	×				○	
委第1号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

# 行政視察報告

各委員会の所管事項について、今後の政策提言に活かすため、先進的な取り組みを行っている自治体に出向いて研修しました。



守山市役所

## 議会運営委員会 10月17日～18日

**【視察地／調査項目】**  
 大阪府大阪狭山市／通年議会について、議会改革の取り組みについて  
 滋賀県守山市／通年議会について、議会改革の取り組みについて

**【出席議員】**  
 鈴木茂、尾花瑛仁、井上智則、矢口豊人、新藤孝子、田中一崇、池田達生、大室尚、長沢純、渡辺綱一、前島るり

## 総務常任委員会 10月26日～27日

**【視察地／調査項目】**  
 岩手県紫波町／「オガールプロジェクト」について  
 宮城県名取市／震災復興の取り組みと防災・減災のためのまちづくりについて、名取市震災復興伝承館の見学

**【出席議員】**  
 田中一崇、池田達生、小池佑弥、津田賢伯、小川明仁、荒川昌佑、長沢純、浦和三郎



オガール(紫波町)



グリーンパーク折居(宇治市)

## 文教経済常任委員会 11月7日～9日

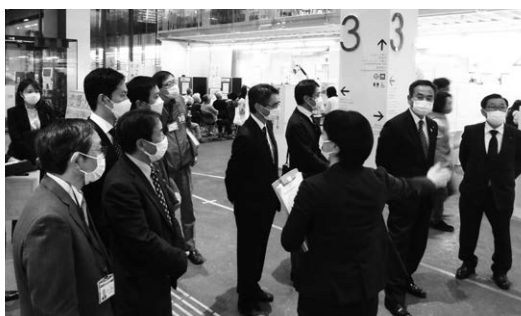
**【視察地／調査項目】**  
 京都府宇治市／「グリーンパーク折居」について  
 京都府京都市／不登校支援について、「南部グリーンセンター」と「さすてな京都」について  
 愛知県名古屋市／「なごや子ども応援委員会」について

**【出席議員】**  
 平田通子、田島純、新道龍一、樋口敦、轟信一、鈴木茂、道下文男

## 都市整備消防常任委員会 11月7日～8日

**【視察地／調査項目】**  
 新潟県長岡市／中心市街地のまちづくり  
 新潟県三条市／水害対策の推進、三条市水防学習館の見学

**【出席議員】**  
 井上茂、井上智則、尾花瑛仁、戸口佐一、渡辺綱一、大室尚



長岡市役所



大府市議会

## 健康福祉常任委員会 10月24日～25日

**【視察地／調査項目】**  
 愛知県大府市／「健康都市おおぶ」の取り組みについて  
 愛知県豊橋市／「こども未来館ここここ」について

**【出席議員】**  
 戸野部直乃、海老原直矢、原田嘉明、佐藤恵理子、矢口豊人、新藤孝子、星野良行、前島るり

# 一般質問

ここが問題  
そこが聞きたい!

12月定例会の一般質問は、12月14・15・16・19・20日の5日間行われ、23人の議員が市政全般77項目にわたって市当局の見解を求めました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(2月中旬公開)。

なお、本定例会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いし実施いたしました。



各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることで、一般質問の録画映像を視聴できます。

樋口 敦 (政策・市民の声)



## ヤングケアラー支援条例を 制定し、支援の充実を

**問** ヤングケアラーは一般的に18歳未満と定義されている。その年齢を超過した若者に対しては、どのように支援を行っていくのか。

**答** 18歳からおおむね30歳代までの若者ケアラーは、進学や就職、仕事と介護の両立など若い世代の抱える課題があり、ケアの責任がより重くなることが考えられる。そのため、年齢により途切れてしまいうことがないように18歳を超えた若者への支援についても継続して取り組むことが必要であると考えている。

**問** 市長はヤングケアラー、若者ケアラー支援に対し、どのような考えや方針か。

**答** 本来大人が担う家事や介護などを日常的に行っているヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任を負うことで成長に影響があるといったことなどが大きな社会問題となっている。子どもの健やかな育ちのためには、市や関係機関、地域全体でしっかりと連携し、ヤングケアラーの早期発見、支援につなげていかなければならない。今後、子どもたちが安心して健やかに成長できる一みんなでつくるみんなが輝くまち「あげお」を実現すべく、ヤングケアラーを支援するための条例制定を早期に目指したいと考えている。

### その他の質問

- 認知症対策
- ふるさと納税

尾花 瑛仁 (上尾同志会)



## 防災無線・物流倉庫開発・交通環境 各種生活環境の改善策

**問** 防災無線が聞こえない問題の補完策として、電話番号を事前登録し、放送内容を行政側から固定電話に発信するサービスや、市公式LINEを通じて配信するサービスを導入してはどうか。

**答** 提案のサービスを導入し、情報発信体制の整備を進める。

**問** 愛宕に建設中のGLP上尾の周辺への影響を懸念する声を多く聞く。以前、市として可能な限りのアプローチを要望したが進捗状況は。

**答** 中山道渋滞対策として、県と関係事業所に、上尾陸橋交差点の右折帯整備を要望した。事業者に対しては渋滞

対策を求め、結果として車両出入口の間口が十分に確保された他、工事中から竣工後も関係車両の出入りを左折イン、左折アウトに限る対策が講じられた。なお地域還元を取り組みとして、中山道に面した敷地内に、市民が利用できる憩いの場を整備予定と聞いている。

**問** 愛宕陸橋交差点では、右折車が交差点中央まで進行しないことで、後続車両の渋滞が発生している。渋滞緩和のため、警察官を配置し車両を誘導するよう依頼してはどうか。

**答** 要望を踏まえ、上尾警察署に申し入れる。

### その他の質問

- 市長職と諸団体の連携
- 将来都市像にむけた広域・エリア別施策
- 地域社会と民主主義



# ハザードマップ詳細解説！ 寺東公園ワークショップ!?



田島 純 (上尾同志会)



**問** 埼玉県内の市町村全てのハザードマップを入手し比較検証した。本市の特色と防災方針を伺う。

**答** 市全域を一度に確認できる地図と避難行動をまとめた冊子に分け、情報発信の充実や日本語を母国語としな

い方も活用できる工夫をした。一人の逃げ遅れも出さないこと、機能する体制の構築、関係機関との連携強化の3点を方針としている。



ハザードマップを比較検証！

**その他の質問**  
マンション適正管理  
調整池の役割



地元に愛され、いつもキレイな浅間台第四公園の花壇！



どのような公園にしたら良いか一緒に考えました。

**答** ワークショップ通信の作成配布、市ホームページでも周知を行った。

**問** 寺東公園実施設計策定に当たり、9月から12月にかけて計3回小泉集会所でワークショップが開催された。内容と地元地域への周知方法を伺う。

# 市民との交流の機会確保を



星野 良行 (彩の会)



**問** 職員倫理条例が制定されて約2年が経過したが、取り組み状況

を伺う。

**答** コロナ禍で自粛していた地域での総会など、以前のような活動が再開されつつあるが市長を筆頭に職員が襟を直し、市民からの信頼回復に努めているところである。

条例の施行規則において、市の事業に関する利害関係者との間の禁止行為の例外として、市が主催する行事に伴って行う行為は例外対象と規定している。その取り扱いの運用状況を管理するため、事前の届け出制とする内部通知を先月発出したところである。

**その他の質問**  
指定管理者の選定  
ふるさと納税

**問** 条例が適切に運用される一方で、以前のように職員との交流や意見交換をする場がなくなってしまうとの声も多く聞く。そうした市民との意見交換の重要性については、過去に市も認めている。今後、どのような対応を考えているか。

**答** 国などでは一律に会食禁止とせず、一定の基準や届け出による管理の下、徐々に制限を緩和している。本市においても、今はその段階的な時期にある。時間をかけて市民からの信頼回復に努めるとともに、信頼を損なわず、社会通念上認められる範囲で、交流の場などを確保できるように努めていきたい。

# 安全なまちづくり／景観保護



浦和三郎 (政策・市民の声)



**問** 市内公園の防犯カメラの設置状況は。

**答** 9カ所の公園に24台設置されている。

**問** 公園へカメラを設置することについて、市の見解は。

**答** 犯罪などに対する抑止力の向上、事件発生時の早期解決に効果があると認識している。

**問** 公園へのカメラ設置が進まない要因は。

**答** 公園利用者や近隣住民に対するプライバシーへの配慮、設置・維持管理費用などの問題が挙げられる。

**問** 公園の樹木はどのように管理しているか。



大谷小学校の樹木

**問** 学校の樹木管理は。

**答** 学校職員が中心となり、日常の安全点検を行っている。

**問** 学校の樹木に対し苦情や要望はあるか。

**答** 落葉の飛散や樹木のせん定、伐採などの要望が寄せられた。

**問** 学校樹木せん定の基準やせん定順番はあるのか。

**答** 重大事故防止に鑑み、老齢で立ち枯れた枯損木の伐採や学校敷地外に越境している枝葉のせん定などを優先的に行っている。

**その他の質問**  
インボイス制度

## 「中学生学力アップ教室」 実施の決断を



鈴木 茂 (政策・市民の声)

**問** 9月議会では、不登校児童生徒への多様な学習機会の経済的支援を求める請願が、全会一致で採択された。

**答** 請願が採択されたことは重く受け止めている。多様な学習機会への経済的支援についてはさまざまな手法があることから、不登校対策推進委員会できつかりと検討する。

**問** 熊谷市では、地域人材を活用し、学習が遅れがちな生徒に支援を行う「中学生学力アップ教室」を全ての中学校で実施しており、この事業を実施していない本市との学力の差は歴然である。生きる

## 市長への政策提言制度の 運用見直しを図るべき



海老原直矢 (政策・市民の声)

**問** 市長への政策提言制度について、令和4年6月の質問で運用の改善を求めたが、その後の検討状況は。

**答** 令和3年度分の回答集を情報公開コーナーに設置し、令和4年度分の回答は1件ごとに随時公表していく。

**問** 市民への回答では「研究する」などの表現を控え、平易な表現とすべきと考えるがいかがか。

**答** より分かりやすい

## がん検診に内視鏡検査の導入を



井上 茂 (政策・市民の声)

**問** 以前の一般質問でがん検診の取り組みについて質問し、ウェブ申し込みと内視鏡検査の実施を要望した。ウェブ申し込みについて

**答** 迅速な対応をするために現在の制度に更にした。意見や回答の要旨は報告を受け把握している。

**問** 市民から「市長の見解を求めたにも関わらず担当課からの返答であった」との声があった。市長は、自身の見解を求められたものであっても自身で答える必要はないと考えているか。

**答** 内容にもよるが、担当部署で判断できるものは、担当部署が責任を持って対応している。

## がん検診に内視鏡検査の導入を

**問** 県内市の70%が実施しているとのことである。がんは死亡リスクが高く、その対策は医療費の抑制にもつながると思う。本市でもぜひ取り組んでほしいが、現在の検討状況は。

**答** 令和2年度から、上尾市医師会と胃がん個別内視鏡検診実施検討会を計5回開催している。実施内容や二重読影の方法などについて意見交換を行い、令和5年度の実施に向けて予算編成過程で協議を重ねている。

### その他の質問

- 部活動の地域移行
- 都市公園のトイレ

### その他の質問

- 子ども・子育て支援福祉施策

### その他の質問

- 水上公園
- 水害対策
- 学童保育の充実

### ICT活用で守る！ 子どもの安全・保護者の安心



小池佑弥 (上尾同志会)



**問** 子どもの防犯・事故防止対策について、課題はあるか。

**答** 見守りに携わる人の高齢化や、学校安全パトロールカーの登録者数の減少などがある。

**問** 防犯ボランティアや学校安全パトロールカーは子どもの見守りにおいて重要な施策である。平成26年度と令和3年度を比較するとパトロール稼働時間は30%程度に減少しているが、改善策は。

**答** 地域の皆さまに運転者登録を依頼し、人材確保に努めている。  
**問** 今後も担い手不足が続くと考えられる今、地域一体で見守りを行う「タウンセキュリティ」の仕組みが必要で

ある。府中市では、全児童生徒に信号を発信するICT端末を配布し、その信号を受信する基地局を市内各所に設置することで、子どもの位置情報を保護者がスマートフォンなどで確認できる取り組みが進んでいる。保護者の安心だけでなく、万が一の場合に警察と情報連携する際にも有効である。ICTを活用した「タウンセキュリティ」の仕組みについて、市の見解を伺う。

**答** ICTを活用した見守りシステムは、校門の通過時刻や位置情報を確認できるなど、児童生徒の安全確保につながることから、調査、研究していく。

#### その他の質問

- 企業誘致
- 公共交通
- 市民窓口の混雑状況

### がん患者に寄り添った アピアランスケアを



戸野部直乃 (公明党)



**問** アピアランスケアの必要性について、市はどのように考えているか。

**答** アピアランスケアは、がん治療に伴う外見の変化を補完し、がん患者の苦痛を軽減するケアとされている。国立がん研究センターによると、近年のがん医療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増えていることから、副作用症状としての外見の変化によるストレスが報告されている。がん患者の心理的負担の軽減や社会参加の促進などの観点からアピアランスケアの必要性は考えられる。

**問** 仕事や学校を辞めたり、人に会うのがおっくうになったりして外出の機会が減る人は40%を超える。アピアランスケアにより生活の質が向上し、社会復帰に向け背中を押される人は多いと思う。市内で悩んでいる人の思いに立った補助制度の導入を要望するが、市の見解は。

**答** 埼玉県に確認したところ、令和4年7月時点で、県内においては川口市、行田市、美里町、松伏町が、がんの治療によるウィッグの購入費用を助成している。今後、先進事例などを調査、研究していく。

#### その他の質問

- 子宮頸がんワクチン接種の状況
- 医療的ケア児支援
- 出産子育て応援交付金を活用した事業

### 若年がん患者のターミナル 在宅療養への支援実施を



井上智則 (公明党)



**問** 若年がん患者の経済的な負担はどのようなになっているか。

**答** 療養に必要な医療費の他、病状の進行により日常生活において、車椅子などの福祉用具や訪問介護などのサービス利用が必要となる場合がある。

**問** 介護保険制度では、40歳から64歳までの人で、がんのため医師により回復の見込みがないと判断された場合には、特定疾病に該当するため、必要な介護サービスを自己負担1割で利用することができると、39歳以下の人は全額自己負担となる。  
**問** 本市の若年がん患者の死亡者数は。

**答** 埼玉県によると、本市における39歳以下のがんによる死亡者数は令和元年が3人、令和2年が3人である。

#### その他の質問

- 一人一台端末の活用
- ディスレクシアへの適切なサポート

**答** 若年の末期がん患者が、残された時間を住み慣れた環境で、家族と一緒に過ごしたいという希望をお持ちであることは認識している。在宅療養支援制度の創設については、請願などを踏まえながら考えていく。

## 難病患者への支援拡充を

道下文男（公明党）



**問** 難病患者支援における課題は。

**答** 難病は、同じ疾患でも異なる症状を示す場合があることなどから、相談支援については難病医療の専門的な知識や経験が必要であり、関係機関との連携強化が重要である。

**問** 難病患者はさまざまな悩みを抱えている。難病患者同士が語り合える場として「難病カフェ」を市が設置することについて見解は。

**答** 難病カフェは、当事者団体が中心となり実施するものである。実施協力などの依頼があった際には、市としても協力していきたい。市内には1700人を超える難病者がい

る。専門性の高い「難病福祉課」を新設する必要があると考えるが市長の見解は。

**答** 関係機関との連携や役割分担、他市の状況などを調査する必要がある。今後も難病患者の方が安心して暮らすことができるよう、福祉サービスの周知を図り、支援していく。

### その他の質問

- 鴨川中央公園整備（トイレ整備など）の推進による市民の健康増進
- 粗大ごみ収集の拡大による市民福祉向上とリサイクル推進
- 西上尾第一団地内交番の警察官常駐による防犯対策の更なる強化
- 上尾市工業連絡協議会・領工会等との連携による上尾市まちづくりの推進

## ひとり親世帯や乳児の養育者に寄り添う施策を

津田賢伯（無党派）



**問** 地域子育て支援拠点施設、ひとり親家庭相談窓口について、土・日曜日や祝日の実施要望はないか。また今後実施しないのか。

**答** 地域子育て支援拠点施設の利用者からの要望はない。今後、土・日曜日に実施することについて、各施設に調査を行う。

ひとり親相談においても要望はない。子ども家庭総合支援センターなどは土曜日も開庁しており、相談があった場合には相談員につながるなど、適宜対応している。今後、相談体制の充実を含め、市民サービスの向上につながる取り組みを検討していく。

## 新型コロナウイルス対策の現状は

荒川昌佑（政策・市民の声）



**問** 新型コロナウイルス感染症で自宅療養している人に対しては、市だけでなく埼玉県でも支援物資を提供しているが、県への申し込み件数と配達漏れの有無を伺う。

**答** 県によると、令和4年4月から10月までの申請件数は約22万3千人で、配達については申請不備などでキャンセル扱いとなる場合があるが、配達漏れはないとのことである。

**問** 療養中に配達されず、問い合わせをしている間に療養解除になった人もいと聞く。未配があつたとすれば市として課題と捉え、対策が必要と考えるが見解は。

**答** 市による支援物資の配送は、県の配食サービスとの併用を可能としており、市では県のサービスの配達状況は共有していない。また市内医療機関や「広報あぐお」、ホームページ、SNSにより定期的に周知してきた。なお、国の制度見直しに倣い、県では10月31日で配食サービスを終了した。市においても在庫限りで支援物資の配送を終了する。

### その他の質問

- 学校施設更新計画
- 市民の声を生かした街づくり

「ぐるっとくん」のバス停にベンチを



佐藤恵理子（無党派）



**問** 他自治体では、寄付などによりバス停にベンチを設置している例がある。「ぐるっとくん」のバス停にベンチを設置しない理由は、

**答** 他自治体の事例では、歩道用地が十分確保された安全な場所などに設置されている。一方「ぐるっとくん」のバス停の大半は、幅員の狭い生活道路に面しており、安全性などの観点から適切な設置場所の確保が困難である。寄付金や寄贈の申し出は大変ありがたいが、ベンチの設置には慎重な判断が必要であると考える。

未来を担う子どもたちの育成や若者視点のまちづくりを



矢口豊人（政策・市民の声）



**問** 市が責任を持つてベンチを設置、管理するためには、安全性の確認、ベンチの大きさ・材質・耐久性、定期点検や修繕費・事故補償など維持管理に係る予算化など、さまざまな要件がある。そのため、寄贈を受ける際には事前に要件を確認、調整する必要がある。

**答** 市が責任を持つてベンチを設置、管理するためには、安全性の確認、ベンチの大きさ・材質・耐久性、定期点検や修繕費・事故補償など維持管理に係る予算化など、さまざまな要件がある。そのため、寄贈を受ける際には事前に要件を確認、調整する必要がある。

未来を担う子どもたちの育成や若者視点のまちづくりを

**問** 「あげお子ども議会」は、平成31年度を最後に廃止されたが、私自身が第1回の議員だったこともあり、非常にすばらしい事業だったと思っている。現在は、中学生を対象とした「未来を担う子どもからの提案制度」に移行しているが、主権者教育の場、未来を担う若者視点でのまちづくりの場、若者と大人の相互教育の場にもなるという観点に立つと小学生、中学生、高校生などの各成長段階における少年議会や若者議会のような制度を実施すべきと考える。そうした制度を創設し、答えのない課題に対して主体的に考える力、

その他の質問



広報あげお（平成3年9月15日号）

**問** 「あげお子ども議会」は、平成31年度を最後に廃止されたが、私自身が第1回の議員だったこともあり、非常にすばらしい事業だったと思っている。現在は、中学生を対象とした「未来を担う子どもからの提案制度」に移行しているが、主権者教育の場、未来を担う若者視点でのまちづくりの場、若者と大人の相互教育の場にもなるという観点に立つと小学生、中学生、高校生などの各成長段階における少年議会や若者議会のような制度を実施すべきと考える。そうした制度を創設し、答えのない課題に対して主体的に考える力、

**答** 若者の自ら考える力を引き出し、主体的に行動できる能力を育てることは、ますます重要になると認識している。未来を担う子どもたちが複雑な現代社会を生き抜くための力を身に付けられるよう、これからも教育委員会をはじめとした関係機関と連携しながら取り組んでいきたい。

誰もが元気に暮らせる上尾市に



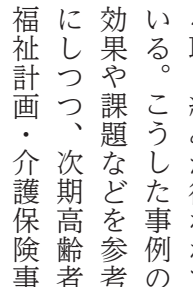
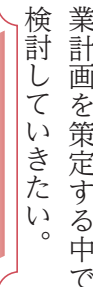
秋山かほる（無党派）



**問** 働かざるを得ない高齢者が増えると、地域の役員の成り手が不足し、地域が疲弊してしまう。元気な高齢者をより増やすために、「いきいき百歳体操」を実施すべきと考えるが、市の見解は。

**答** 現在実施しているアツピー元気体操、アツピーせらばん体操は、いきいき百歳体操と同様に激しい動きはなく、高齢者や体力に自信のない人でも気軽に実施できる。セラバンドは初心者から上級者まで幅広く使え、重りより安全で強度を自由に調整できるため、誰でも気軽に使用できるトレーニング器具であると認識している。

その他の質問



広報あげお（平成3年9月15日号）

**問** 団地では、独り暮らしの高齢者への見守りが課題である。団地に学生を住まわせて、自治会の仕事や高齢者の見回りなどを手伝ってもらい、家賃補助をする施策などをつくってはどうか。

**答** 県営上尾シラクバト住宅において、聖学院大学の学生が同居し、自治会の活動に参加する取り組みが行われている。こうした事例の効果や課題などを参考にしつつ、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定する中で検討していきたい。

## 福祉タクシシー券の複数枚利用を



戸口佐一 (日本共産党)



**問** 福祉タクシシー券は障害者の社会参加を促す目的で、タクシシーの初乗り運賃を助成するものである。令和3年度のタクシシー券の利用率は36・8%と低く、複数枚利用できるように改善してほしいとの声が多く出ている。埼玉県では、タクシシー券の利用を1回の乗車につき初乗り料金分1枚(500円)としているが、どのように取り決めているのか。

**答** 埼玉県の福祉タクシシー券の制度は、福祉タクシシー運営協議会で協議を行い取り決めている。

**問** 福祉タクシシー運営協議会では、福祉タクシシー券の複数枚利用の

議論はされたのか。議論されたのであれば、どのような内容か。

**答** 協議会では、各自治体およびタクシシー会社から福祉タクシシー券の複数枚利用について意見を聴取し、協議を行っている」と報告を受けている。

**問** 複数枚利用など、より使いやすい制度になるよう、協議会に働きかけを行ったか。

**答** 協議会からの調査に対し、1回の乗車につきタクシシー券2枚まで利用できる改正案に賛成する旨を、令和4年8月に回答した。



### その他の質問

- 困窮者の住宅支援とまちづくり
- 加齢性難聴者の補聴器補助

## インボイス制度は中止を



新藤孝子 (日本共産党)



**問** インボイス(適格請求書)制度は、売上げ消費税から仕入れ消費税を引いて納税するため、税務署発行番号の記載がない請求書は控除が認められない。そのため、売上げ1千万円以下の消費税免税事業者となる中小零細企業やフリーランスなどが取引から排除され、契約額から消費税相当分の値引きを押し付けられてしまう。

**答** シルバー人材センターで働く会員も、制度が導入されれば課税事業者となり消費税額を納入することになる。会員の負担とならないように、市は対応を考えているのか。

**答** 市の業務発注課で

は、適切な設計に基づき、適正に対応していくものと考えている。

**問** コロナ禍であり、また円安により物価が高騰している状況で、市長はインボイス制度を受け入れるのか。

**答** 国の制度に基づき実施するもので、市としても対応する必要がありと考えていることから、関係部局が連携して取り組んでいく。

**問** 制度を導入すれば地域事業者の活力を低下させる。制度の中止・延期を国に要望すべきではないか。

**答** 制度開始に向け準備を進めているが、国の動向も注視していく。

### その他の質問

- マイナ保険証は中止を
- 新型コロナウイルス感染拡大「第8波」に備えるの対策

## 障がい者が利用しやすい駐車場の整備を



轟 信一 (日本共産党)



**問** 市内公共施設における障がい者用駐車場の利用状況は。

**答** 各公共施設に障害者用駐車場の利用状況を確認したところ、特にクレームなどはないとのことである。

**問** 障がいのある人が駐車場を利用できないなどの問題が発生し、適正な利用を促す取り組みが求められている。「パーキング・パーミット制度」は、障がい者等用駐車区画の利用対象者を障がい者など歩行が困難と認められる人に限定し、利用証を交付することで適正利用を図る制度であるが、平成18年に佐賀県で導入されて以降、多くの自治体で導入され

ている。同制度の近隣市における導入状況は。

**答** 県内では川口市、久喜市が導入している。

**問** 本市で導入する考えは。

**答** 主に都道府県単位で行っており、埼玉県の動向を注視していく。

**問** 障がい者用駐車場の適正利用を啓発するために取り組んでいることはあるか。

**答** 埼玉県では毎年11月ごろを「障害者用駐車場マナーアップキャンペーン強化期間」とし、1都3県共同の啓発活動を実施しており、市においても啓発ポスターの掲示を行っている。

### その他の質問

- 空き家を活用した街づくり
- 子どもたちが伸び伸びと過ごせる学童保育所を

### 学校施設更新計画は 市民の意見をよく聞いて判断を

池田達生 (日本共産党)



**問** 市は、計画の見直しに向けてワークショップを行ったが、300人の定員に対し119人の参加であった。基調講演に至っては千人の会場に50人程度と少なく、大失敗と考える。基調講演の目的、周知方法を伺う。また参加者が少なかったことの見解は。

**答** 基調講演は、市が目指す「新しい時代の学びにふさわしい学校づくり」について市民の意識啓発を図ることを目的に実施したもので、広報誌などによる周知の他、保護者や自治会などにもお知らせした。参加人数が少ないうことをもって、基調講演が失敗であると評

価するべきではないと考えている。

**問** 市が実施したアンケートにおいて「学校教育に求めるものは何か」との問いに、75%の保護者が「学力の向上」と回答し、「小中一貫教育の推進」は10%程度であった。小中一貫教育に対する保護者の声をどのように受け止めているか。

**答** アンケートでは、「小中一貫教育の取り組みをどう思うか」の設問に、約68%の保護者が肯定的な回答をした。最も多い理由は「中一ギャップ」の解消である。

**問** ひとり親家庭や生活困窮世帯の小学5・6年生、中学生に無料学習支援教室を実施しているが、実績を伺う。

**答** 教室は市内5カ所に開設している。令和4年度は約800人に案内し、10月現在の参加人数は110人である。希望する高校に進学できたり、不登校の児童が登校できたりした例がある。

**問** 瓦葺地域と、国道16号線以南の原市南地域からの参加人数は。

**答** 参加希望者は8人で全員参加している。

**問** 教室が遠く、申し込み自体を諦めた人もい。仕事のため送迎できない日があり、子どもだけで通えるよう

にしてほしいと、原市地域での開催を求める声があるが見解は。



平田通子 (日本共産党)

### 瓦葺・原市南地域で無料学習支援 教室とフードパントリーを

**答** 通いやすさを考慮し開催しているが、事業内容などを必要に応じて見直していく。

**問** 「子どもの居場所づくり」応援事業補助金が創設されたが、認定が6件と少ない。地域格差をなくし、困窮する世帯へ学習支援や子ども食堂、フードパントリーなどの包括的な支援が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 行政が行う支援と、子ども食堂などの地域による支援を総合的に実施していくことが重要と考える。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催す

るベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 「ベースボール5」という新しい競技を認識しているか。

**答** 2017年に世界野球ソフトボール連盟により、野球・ソフトボール振興の一環として考案された新しいアーバンスポーツで、ゴムボール一つで楽しめる、今後さらなる普及が期待される競技と認識している。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 「ベースボール5」という新しい競技を認識しているか。

**答** 2017年に世界野球ソフトボール連盟により、野球・ソフトボール振興の一環として考案された新しいアーバンスポーツで、ゴムボール一つで楽しめる、今後さらなる普及が期待される競技と認識している。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

#### その他の質問

● いじめや不登校を減らすために

● 安全な食材で、地産地消の学校給食を

● ぐらっとくんの拡充、デマンドタクシー等公共交通の充実

● 市内公園の施設計画と維持管理の進捗状況と今後

### 新たなアーバンスポーツの 振興を

小川明仁 (彩の会)



**問** 「ベースボール5」という新しい競技を認識しているか。

**答** 2017年に世界野球ソフトボール連盟により、野球・ソフトボール振興の一環として考案された新しいアーバンスポーツで、ゴムボール一つで楽しめる、今後さらなる普及が期待される競技と認識している。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

**問** 市内に、学校体育館で練習しているチームがある。新しい競技であるためなかなか理解してもらえず、体育館を借りるまでに苦労したと聞くが、令和4年の日本選手権では優勝、世界選手権では準優勝に輝いた。現在では加須市などが主催するベースボール5の体験会で、子どもたちに競技を広める活動も行っている。本市でも、競技の体験会などのイベントを実施してほしいと考えるが、市の見解は。

**答** ベースボール5は野球やソフトボールの競技要素を取り入れながらも、体育館などの小さな場所でも実施が可能で、年代やレベルに応じて広く楽しむことができる。今後は、世界大会に出場された競技者との交流の場など、市やスポーツ関係団体のイベントにおいて紹介することや、体験会の実施に向けて検討を進めていく。

#### その他の質問

● 埼玉県スポーツ科学拠点施設整備

● 文化とまちづくり

● 税の使われ方



3月定例会会期予定表

- 2月17日 開会
- 22日 質疑、予算特別委員会の設置、委員会付託
- 24、27・28日、3月1日 予算特別委員会
- 3月3日 委員会 (総務、都市整備消防)
- 6日 委員会 (文教経済、健康福祉)
- 7日 予算特別委員会
- 9・10、13・14、16・17日 一般質問
- 22日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動 R4.11.16 ~ R5.1.15



▲都市整備消防常任委員会の審査



▲文教経済常任委員会の審査

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	12/9 12/21	・12月定例会提出議案7件、請願2件を審査 ・12月定例会追加提出議案2件を審査
文教経済常任委員会	12/12 12/21	・12月定例会提出議案4件、請願1件を審査 ・12月定例会追加提出議案1件を審査
都市整備消防常任委員会	12/9	・12月定例会提出議案5件を審査
健康福祉常任委員会	12/12 12/21	・12月定例会提出議案3件、請願1件を審査 ・12月定例会追加提出議案1件を審査
議会運営委員会	11/30~ 12/23	・議会運営について協議 (協議回数7回)
議会改革特別委員会	11/17 11/28 12/16	・議会基本条例、反問権の付与、文書質問について他 ・議会基本条例について他 ・議会基本条例について他
上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会	12/5 12/23	・基本計画見直しのためのアンケート調査結果、基本計画(骨子案)、基本計画見直しのための市民ワークショップの開催結果について他 ・基本計画(素案)、基本計画(素案)に対する意見聴取、上尾市小中一貫教育基本方針(骨子案)、上尾市学校給食基本方針(骨子案)他
議会報編集委員会	11/16 12/23	・「あげお議会だよりNo.204」について協議 ・「あげお議会だよりNo.205」について協議

\*3月定例会は、2月17日(金)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、2月13日(月)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 田島 純
- 副委員長 樋口 敦
- 委員 小池 佑弥
- 委員 井上 智則
- 委員 荒川 昌佑
- 委員 轟 信一
- 委員 戸口 佐一
- 委員 大室 尚

—意見書4件を原案可決—

12月定例会では、議員提出議案として意見書7件を提出し、4件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆消費税のインボイス制度導入に伴うシルバー人材センターの安定的な運営に関する意見書

提出先→内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 経済産業大臣 衆議院議長 参議院議長

◆学校給食の無償化を求める意見書

提出先→内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣 衆議院議長 参議院議長

◆带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書

提出先→内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長

◆知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

提出先→内閣総理大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長